

# 自然界の不思議、超自然界の不思議、宇宙の不思議

2022年7月23日

太田隆次

誰しも生まれてこのかたその人なりの「不思議」に囲まれて今日まで生きて来ました  
以下、私の不思議なことを自然界と超自然界と宇宙に分けて記します

## 1, 自然界の不思議

### 生き物の不思議

高校時代、里帰りしたひと夏、瀬戸内海に面した私の生まれ故郷の漁村で、毎朝早く海岸を歩くと、無数の赤色の蟹が列をなして陸地に向かってとぎれなく移動する風景によく出会いました。その後海岸に戻ることもなく、不思議に思っていました。

もう忘れていた数十年前に、インド洋上のクリスマス島の観光特集で、赤色の蟹の大群が早朝に山側に移動し、暫くそこで生活してから又、生まれた海岸に戻る、しかし最近では車の普及で戻るまでに道路で踏みつぶされる蟹の死体が多くなった風景が映し出されました。私のふるさとにも国道が出来、車の往来が増えたようで、私の「不思議」はどうなったか気になっています。

地球には無数の生き物がいてその生態が不明で「不思議」が無数にあるそうです。

例えば「こぶだい」という80センチを超える大きい雄は頭の上に大きな「こぶ」があり、一匹で多くの雌を従えてグループを作っていますが、どこからか一匹狼の雄の「こぶだい」が入ってくると、たちまち雄同士で決闘となり負けた方はやがて性転換して雌になり雌ばかりの「こぶだい」のハーレムの一員となるそうです。専門家たちが画像で解説していましたが、その理由は不明で文字どおり「不思議」とのことです。

その他、猿や鳥の鳴き声やクジラのクリック音など、分類学上近いほど、ヘビが来たぞとかの危険や、餌場があるぞなど知らせる鳴き声や文法や声紋が似ているなど研究が進んで、これまで「不思議」とされてきた彼らの言語や行動が次第に解明されつつあるようです。

京都大学は「霊長類」の研究で有名ですが、人間の言葉をかなり習得した老齢のチンパンジーが死ぬ間際の最後の言葉は「深い所に落ちていく」だったそうです。

先日、「セラピードッグの不思議な力」という特集番組がありました。介護施設で身体の不自由な高齢者に何をされても動じず、高齢者達を喜ばせていました。この犬たちは訓練施設で45ある

カリキュラムにより2年半も特別な訓練を受けて合格した犬だけが「セラピードッグ」と認証され各施設を回っているそうです

しかし、飼い犬は約150語の人間の言葉を理解して「お手」などの芸は出来ますが、これは水族館のオットセイや動物園のイルカの芸などと同じく「人間発」の条件反射で不思議でも何でもないそうです

### 人体のバランス機能の不思議

人体とは「バランス力」の不思議そのものだと思います 例えば交感神経（アクセル、興奮）と副交感神経（ブレーキ、鎮静）のバランスです。これは高津高校でスルメ斎藤先生の「生物」で少し習いましたね

（下図は名古屋ハートセンターのHPよりの抜粋）

図2



## 2. 超自然界の不思議

### 占星術（せんせいじゅつ）

古代から世界各地で、太陽系内の太陽・月・惑星・小惑星などの天体の位置や動きなどと人間・社会のあり方を経験的に結びつけて占なって来ました 日本でも高松塚など古墳の壁や天井に星座が描かれているのは占星術の影響です、

## 手相見

暗い物陰で手相を見たり生年月日から悩み事の相談に応じています 切羽詰まった悩みは尽きないのか、現代でもお客さんはかなりあるようです

総元締め組織があるらしく入会金を払うと折り返し、場所の借り方や模範回答集が配布され自分で色付けして相談者にオーダメイドに回答するそうです お客への料金は1時間2000円がひとつの目安とか

## 河童

柳田国男が明治43年(1910年)に岩手県遠野地方に伝わる天狗、河童、座敷童子(わらじ)、神隠し、臨死体験などを聞き取り「遠野物語」として出版しました そのうち「河童」が有名になって、不思議な動物の代表的存在になりました

遠野市は町おこしの一環として「河童」を1000万円の懸賞をつけて探していますが河童はまだ見つかっていません

## 超能力者

ご記憶の方も多いと思いますが、ユリ・ゲラー(1946年12月20日生まれ)が1974年2月21日に初来日、日本テレビの番組『木曜スペシャル』に出演し、フォーク曲げや透視を実演しました また、日本の視聴者へ向けてテレパシーを送り、家にあるスプーンなどを視聴者自身に曲げさせるパフォーマンスも披露 これらは大きな話題を呼び、日本中にスプーン曲げブームを巻き起こしました

その他、行方不明者を遠視で探したり、念力で遠隔地にある半紙の字を読んだり、死者の群れが見えるという超能力者も現れました

## 3. 宇宙の不思議(地球は消滅する)

### 地球の寿命の不思議

(以下は専門家が言われていることを参考にした私の個人的な意見です)

宇宙の星々はいずれも寿命があり、太陽は約100億年の寿命で現在は誕生後50億年、つまりあと50億年の寿命である エネルギー源はヘリウムの核分裂で水素に入れ替わっていて、あと50億年で核分裂は消滅する

他の恒星の観測によれば太陽も一度に消滅するのではなく、徐々に温度を上げながら大きくなり最後は爆発して消滅する

地球は太陽系の惑星として46億年前に誕生し今後も太陽と運命を共にする

太陽が爆発して消滅する 50 億年後までに、地球は今から 2 億 5 千万年後は徐々に高まる太陽の熱により動物が住めない水星や金星のような死の惑星に近くなる。

地球は今から約 2 億 5 千万年前に哺乳類や恐竜が生まれ、逆に 2 億 5 千万年後にはすべての動物は死に絶える 分かりやすく言えば、宇宙人が仮に 2 億 5 千万年前や 2 億 5 千万年後の二回、地球に来ても人間はいなかったし、将来もないということになる

私達、霊長類が生まれてまだ 100 万年足らず、ホモサピエンスと称される現代の人間が生まれてまだ 10 万年足らず、宇宙や地球の歴史の尺度で見れば線香花火のような瞬間的な時間である 世界的な宇宙物理学者のホーキンス博士が、「私は神の存在は信じないが、宇宙を作った造物主はいると思う

造物主は人間はいつまでも戦争や領土争いや核兵器競争や宗教の対立を止めることのできない愚かな動物と嘆いているだろう」と述べたというのも納得できる

(地球の寿命や人類が生存できる年数については諸説あります)

終わり

ご参考までに :

## ハッブル望遠鏡が撮影した銀河たちの不思議



これらの銀河の画像はハッブル宇宙望遠鏡が撮影したものです 2022. 05. 22 現在